

科目名	日本語G		
曜日・講時	木曜3限	教室	川北キャンパスC401
科目群	全学教育科目言語科目－日本語		
単位数	1.0単位		
対象学部	全外国人留学生		
担当教員（所属）	齋藤 麻恵子 所属：		
開講期	1セメスター		
科目ナンバリング	ZLJ-JPN107J		
使用言語	日本語		
メディア授業科目			
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。		
授業題目	上級日本語作文 Advanced Japanese Writing/Composition		
授業の目的と概要	日本語能力試験N1合格レベルの留学生を対象とする。 大学での学習、研究や学生生活において必要とされる様々なタイプの文章を書く力を、実践的な課題を通して身につける。 Eligibility: B2 level in the CEFR/JF Standard for Japanese-Language Education (N1 in the JLPT). Through practical assignments, students will comprehensively develop various writing skills necessary to university studies, research, and student life.		
学修の到達目標	1.様々な文章を読むことで知識や思考を深め、書く練習を重ねることで論理を組み立てる力をつける。 Students deepen their knowledge and thinking by reading a variety of texts, and develop the ability to construct logic by practicing writing over and over again. 2.適切な表現スタイル、文法を選択して活用することができる。 Students will be able to select and utilize appropriate expression styles and grammar.		
授業内容・方法と進度予定	基本的に授業は対面で実施しますが、課題の提出や授業連絡などはGoogle Classroomを通じて行います。詳細はClassroomでお知らせします。 In addition, classes are generally conducted in person, but submission of assignments and class communication will be done through Google Classroom.. Details will be announced in Classroom.  1. 授業オリエンテーション Course orientation 2. 文章表現のルール(1) アカデミックスタイル1 Rules for writing expressions(1) 3. 文章表現のルール(2) アカデミックスタイル2 Rules for writing expressions(2) 4. 文章表現のルール(3) 指示表現・接続表現 Rules for writing expressions(3) 5. 文章表現のルール(4) 主張の表現、文末のバリエーション Rules for writing expressions(4) 6. 文章表現のルール(5) 視点、呼応の表現 Rules for writing expressions(5) 7. 文章の構成(1) 序論・本論・結論／中心文・支持文 Learn to compose sentence structure(1) 8. 文章の構成(2) 説得力のある論理展開 Learn to compose sentence structure (1) 9. 文章の構成(3) 段落と文の働き Learn to compose sentence structure (2) 10. 文章を書く(1) 紹介する1「引用の表現」 Write a sentence(1) 11. 文章を書く(2) 紹介する2「客観的な根拠としての引用」 Write a sentence(2) 12. 文章を書く(3) データに基づいて報告する1「数値に関する表現」 Write a sentence(3) 13. 文章を書く(4) データに基づいて報告する2「図表・データの表現」 Write a sentence(4) 14. 文章を書く(5) データに基づいて報告する3「図表・データの利用」 Write a sentence(5) 15. レポート作成の方法／期末レポートについてHow to make a report / Explanation of final report		
成績評価方法	授業参加度30%、小テスト・宿題40%、期末課題30% Class participation 30%, quizzes/homework assignments 40%, final assignment 30%		

教科書および参考書

書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』	伊集院郁子・高野愛子	アスク出版	2020	978-4-86639-360-5	教科書 textbook
『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』	石黒圭・筒井千絵	スリーエーネットワーク	2009	978-4-88319-502-2	参考書 reference book
『新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』	二通信子・佐藤不二子	スリーエーネットワーク	2020	978-4-88319-842-9	参考書 reference book

『レポート・論文を書くための日本語文法』	小森万里・三井久美子	くろしお	2016	978-4-87424-718-1	参考書 reference book
関連URL					
授業時間外学修	<p>①期間前半に小テストを行う。その復習、準備をすること。 Review for quizzes.</p> <p>②課題（文作成からレポートまで）を作成して提出すること。 Prepare and submit assignments given each time.</p> <p>③期末レポートを作成するための準備（資料集め、アウトラインシートの作成）を行う、また、レポートを作成すること。 Prepare for the preparation of the final report. Also, prepare and submit the final report.</p>				
実務・実践的授業 ※○ は、実務・実践的授業であることを示す。					
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】	<p>オンライン授業を行う際はパソコンの持ち込みが必要です。必要かどうかは初回授業に指示します。 You will need to bring your own computer to the online class. Instructions will be given at the first class on whether it is necessary or not.</p>				
連絡先（メールアドレス等）	<p>全学教育HP掲載の「全学教育科目授業担当教員連絡先一覧」を参照。</p>				
その他					
更新日付	2025.1.22				

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。